＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	東信濃・無垢の木と職人でつくる家
グループの名称	東信濃・無垢の木と職人で家をつくる会
直近採択グループ番号	06-0527-0393

（グループ代表者）

代表者名	田中　俊章　代表者印
代表者所属先	有限会社田中製材工業
代表者所在地	長野県東御市下之城753
代表者電話番号	0268-67-2139

（グループ事務局）

事務局事業者名	俊建築設計室
事務局担当者名	田中　俊章　印
事務局郵便番号	389-0405
事務局所在地	長野県東御市下之城753
事務局電話番号	0268-67-2109
事務局FAX	0268-67-3580
事務局担当者E-mail	toshi@tanakaseizai.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	東信濃・無垢の木と職人でつくる家
２．グループの名称(必須)	東信濃・無垢の木と職人で家をつくる会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0527-0393
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	長野県
５．結成年(必須)	2017　年
６．グループ代表者名(必須)	田中　俊章
７．グループ代表者の所属先(必須)	有限会社田中製材工業
８．グループ代表者所在地(必須)	長野県東御市下之城753
９．グループ代表者電話番号(必須)	0268-67-2139
１０．グループ事務局事業者名(必須)	俊建築設計室
１１．グループ事務局担当者名(必須)	田中　俊章
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	389-0405
１３．グループ事務局所在地(必須)	長野県東御市下之城753
１４．グループ事務局電話番号(必須)	0268-67-2109
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	0268-67-3580
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	toshi@tanakaseizai.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	1	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	3	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	4	
Ⅳ．プレカット	0	全て大工職人の手刻み加工を行う
Ⅴ．設計	3	
Ⅵ．施工	10	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	□　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	長野県産材	長野県	信州木材製品認証基準	1	国内
	岐阜県産材	岐阜県	岐阜証明材推進制度	1	国内
	岐阜県産材	岐阜県	ぎふ性能表示材推進制度	1	国内

Ｂ．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		10	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	6	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	請負契約を締結した順に応じて適宜分配する。

E. 平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）									
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）									
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	優良建築物型									
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸	
	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡	

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅰ＞

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
20	Ⅰ － 1	東信木材センター協同組合連合会		384-0801	長野県小諸市甲字鞍掛4747	0267-23-0887
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅱ＞

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
20	Ⅱ － 2	協同組合エルク		389-0514	長野県東御市加沢201-5	0268-63-7700
20	Ⅱ － 3	上田第三木材合資会社		389-0514	長野県東御市加沢201-5	0268-67-1202
20	Ⅱ － 4	有限会社田中製材工業		389-0405	長野県東御市下之城753	0268-67-2139
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
20	Ⅲ － 2	協同組合エルク		389-0514	長野県東御市加沢201-5	0268-63-7700
20	Ⅲ － 3	上田第三木材合資会社		389-0514	長野県東御市加沢201-5	0268-67-1202
20	Ⅲ － 4	有限会社田中製材工業		389-0405	長野県東御市下之城753	0268-67-2139
20	Ⅲ － 5	株式会社合津建材		386-0017	長野県上田市踏入1-4-26	0268-22-3325
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜様式 2-2･Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由
全て大工職人の手刻み加工を行う

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ⅴ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅴ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅴ．設計							○	○
20	Ⅴ － 6	有限会社安藤建築設計工房		386-1436	長野県上田市前山384-3	0268-39-5963	○	
20	Ⅴ － 7	俊建築設計室		389-0405	長野県東御市下之城753	0268-67-2109	○	
20	Ⅴ － 9	石井工務店株式会社		386-1107	長野県上田市築地535-7	0268-27-8222	○	
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							10	○	○
20	Ⅵ - 4	74302	有限会社田中製材工業		389-0405	長野県東御市下之城753	0268-67-2139	○	
20	Ⅵ - 9	74144	石井工務店株式会社		386-1107	長野県上田市築地535-7	0268-27-8222	○	
20	Ⅵ - 10	74138	新建築有限会社		386-0034	長野県上田市中之条329-2	0268-27-8860		○
20	Ⅵ - 11	74281	有限会社森澤建業		389-0505	長野県東御市和８１９０－８	0268-75-5495	○	
20	Ⅵ - 12	74164	瀧建築		389-0517	長野県東御市県192-3	0268-62-6888		○
20	Ⅵ - 13		丸屋工業		386-1543	長野県上田市岡1159-7	0268-31-3452		○
20	Ⅵ - 14		村田工務店		386-0002	長野県上田市住吉312-3	0268-22-8367	○	
20	Ⅵ - 15		有限会社クボケイ		386-1321	長野県上田市保野190-1	0268-38-5554	○	
20	Ⅵ - 16		西山建築		386-1544	長野県上田市仁古田528-7	0268-31-0235		○
20	Ⅵ - 17	74062	株式会社矢島工務店		386-0032	長野県上田市諏訪形648-1	0268-22-8752	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
20	Ⅵ－ 4	74302	有限会社田中製材工業	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ－ 9	74144	石井工務店株式会社	5 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ－ 10	74138	新建築有限会社	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
20	Ⅵ－ 11	74281	有限会社森澤建業	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ－ 12	74164	瀧建築	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ－ 13		丸屋工業	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ－ 14		村田工務店	4 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ－ 15		有限会社クボケイ	4 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ－ 16		西山建築	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ－ 17	74062	株式会社矢島工務店	5 戸	4 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			○
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）東信濃・無垢の木と職人でつくる家	（地域型住宅供給対象地域）長野県
2．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称）東信濃・無垢の木と職人で家をつくる会	（結成年）2017　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0527-0393	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・寒冷地の気候にあわせ、省エネ性能を高くするため建物外皮の断熱性・気密性を高める。 ・天然乾燥・低温乾燥材等のCO2の排出を抑えた無垢の木を使う。 ・薪ストーブ等の採用により電気・石油の一次エネルギー消費量の削減を目指す。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・無垢の木を使い、集成材やビニールクロス・窯業系サイディング・新建材等の使用を極力避けて、自然素材を使用する。 ・地域の大工・左官・建具等の職人の手仕事を最大限に活かした住宅をつくる。 ・伝統的な工法による、仕口・継ぎ手として金物に頼らない住宅とする。 ・越し屋根やせがい造りを意匠に取り入れる。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・信州の自然や街並みに調和した古民家のような美しいデザインを採用する。 ・信州の四季を考慮して、深い軒、庇を採用する。	◎
④ ①～③の背景	・大手ビルダーの軒の出がないデザイン住宅や太陽光の架台のような方流れ屋根の住宅が乱立し、地域の気候・風土に配慮した住宅が減ってきている。 また、職人技術を活かす住宅も減ってきており、プレカットと既製品建材でつくられた住宅がほとんどである。 このままでは、職人技術の継承が次世代へつなぐことが困難になるため、無垢の木と手刻みによる家づくりを通して、職人技術の継承を促す家づくり目的とする。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：主要構造部：柱は120角以上、横架材は巾120以上を基準とする。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：窯業系サイディング、ビニールクロス、新建材建具等の使用を極力さける。	○
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：無垢の木（主に長野県産材）を使用する。 内装は左官仕上げを標準とする。 木製建具は、建具職人による製作を標準とする。	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	
	②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：定期的な技術交換会を実施する。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：・長期優良住宅、認定低炭素住宅、または性能向上計画認定住宅の申請事務及び技術支援をする。	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：長期優良住宅の認定要件及び低炭素住宅の認定要件等の勉強会を開く。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：基礎配筋、上棟時、断熱施工後の検査記録を事務局に提出し、グループ内で確認する。検査記録は事務局が保管する。	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：グループ内で標準的な施工費用を設定し、設計事務所が見積書の妥当性をチェックする。	○
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：上記の検査項目に加え、サーモカメラによる温熱環境の測定、気密測定を行う。	○
c	① 週休2日制の導入の取組	■ ない	□ ある →	内容：	
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容：建設技能者の能力評価制度の利用検討 施工能力の見える化を実施する。	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある →	内容：事務局にて社会保険への加入を斡旋する。	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容：定期的な安全大会、勉強会を実施する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		123			

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）東信濃・無垢の木と職人でつくる家	（地域型住宅供給対象地域）長野県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）東信濃・無垢の木と職人で家をつくる会	（結成年）2017　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0527-0393	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容： 住宅の長寿命化のインフラとなる仕組みとして、住宅履歴情報の蓄積、利用に関する手順、蓄積情報、蓄積方法、様式の共通化を図る。	○
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容： 住宅履歴情報サービスを利用する	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容： 住宅履歴情報サービスを利用する	○
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容： グループの標準的な維持管理計画、点検表及び点検マニュアルを策定。定期的なメンテナンスに関する勉強会を実施する。	○
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容： グループの標準的な維持管理計画、点検表及び点検マニュアルを策定。定期的なメンテナンスに関する勉強会を実施する	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容： グループの標準的な維持管理計画、点検表及び点検マニュアルを策定。定期的なメンテナンスに関する勉強会を実施する。	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容： 維持管理委員会を設置し勉強会を実施する。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容： DIY木工教室等のイベントを開催する。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容： 住宅関連イベントに参加して、相談ブースを設置してグループの取組みを紹介する。	○
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容： 維持管理委員会を設置する。	○
	⑤	その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある →	内容：	
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容： 完成保証保険等の加入を斡旋する。	
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	■ ない	□ ある →	内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容： 工務店向けに長期優良住宅の技術基準に関する実務研修会を開催する。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容： 技術委員会において、住宅省エネルギー技術講習会のDVD等による勉強会を行う	○
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容： 事務局への報告による	○
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容： グループ内での地域材の安定供給、また職人のスケジュール等の情報の共有化を目指す	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容： 技術取得の為の勉強会等を開催する。	○
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	■ ない	□ ある →	内容：	
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　7		今年度の参加目標人数　3	
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数		今年度の参加目標人数	
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容： 省エネ講習会等の情報を提供する。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容： 動的熱負荷計算の導入	○
	②	新たな技術等の開発	■ ない	□ ある →	内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）東信濃・無垢の木と職人でつくる家	（地域型住宅供給対象地域）長野県
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）東信濃・無垢の木と職人で家をつくる会	（結成年）2017 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0527-0393	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	土台：桧（長野県/信州木材認証材、岐阜県/岐阜証明木材推進制度・ぎふ性能表示材推進制度） 柱：杉・桧（岐阜県/岐阜証明木材推進制度・ぎふ性能表示材推進制度、国内/合法木材証明制度） 梁・桁等の横架材：杉・桧・唐松・赤松（長野県/信州木材認証材または国内/合法木材証明制度、岐阜県/岐阜証明木材推進制度・ぎふ性能表示材推進制度）	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	○
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：□ 使用していない　■ 使用している 板材　壁板、床板等：□ 使用していない　■ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	I.原木供給業者 → Ⅱ.製材・乾燥 → Ⅵ.施工（全て手刻み加工による。） グループのⅤ.設計事務所による設計	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある → 内容：地域材の供給グループ（原木供給、製材等、流通）による地域材の出荷状況等の情報提供を行い、全構成員が情報を共有できる体制の構築を目指す。	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある → 内容：地域材の供給グループ（原木供給、製材等、流通）による地域材の価格等の情報提供を行い、全構成員が情報を共有できる体制の構築を目指す。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：畳の使用を積極的に提案する。	○
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：障子の使用を積極的に提案する。	◎
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：地域の職人の手仕事による技術を活かした仕様とする。	◎
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：せがい造り、越し屋根を意匠に活用する。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：地域の職人の手仕事による技術を活かした仕様とする。	◎
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：農作業や畑仕事が行える土間を取り入れる事を積極的に提案する。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：信州の四季を配慮し、植栽や生垣や木塀を設置する。 また、敷地内の樹木は出来るだけ残し、敷地内の緑化に配慮する。	◎
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：古民家のような深い軒・庇を採用する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） 東信濃・無垢の木と職人でつくる家	（地域型住宅供給対象地域） 長野県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称） 東信濃・無垢の木と職人で家をつくる会	（結成年） 2017 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0527-0393	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

【認定低炭素住宅】
・必須項目は、以下のいずれかまたは組みあわせて実施し、低炭素基準の設計一次エネルギー消費量を目指す。
イ．屋根又は壁の熱還貫流率を低減し、外皮性能の向上を図る。
ロ．開口部の断熱性能を高め、外皮性能の向上を図る。
ハ．給湯で設計一次エネルギー消費量を抑えられるような設備を導入する。
・選択的項目は、
ニ．地域材利用に関するルール以外にも国産の木材を利用すること。
ホ．節水型機器の採用や雨水利用による節水に資する取り組みを行う。

【性能向上認定住宅】
・以下のいずれかまたは組みあわせて実施し、要求基準の設計一次エネルギー消費量を目指す。
イ．屋根又は壁の熱還貫流率を低減し、外皮性能の向上を図る。
ロ．開口部の断熱性能を高め、外皮性能の向上を図る。
ハ．給湯で設計一次エネルギー消費量を抑えられるような設備を導入する。
・エネルギー利用効率化設備は、
ニ．太陽熱集熱設備、太陽光発電、コージェネレーションシステムのいずれかを採用する。

【ゼロエネルギー住宅】
・屋根又は壁の熱還貫流率低減と樹脂サッシ又はアルミ+樹脂の複合サッシの開口部を基本仕様とし、外皮性能の向上を図る。
・また、暖房や給湯の基本的な設備の組み合わせは、
イ．ルームエアコンディショナー＋ガスコージェネレーションシステム
ロ．ルームエアコンディショナー＋電気ヒートポンプ給湯器・熱交換式太陽熱温水器のいずれかを採用し、
外皮性能向上と合わせてエネルギー削減率（R0)40%を目標とする。
・さらに、太陽光発電は、5KW程度を設置することで、エネルギー削減率（R)を120%以上を達成する。
・HEAT20　G2レベルを目指す。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。